

## 令和2年度 第1回郡上市図書館協議会議事録

期 日：令和2年10月21日

会 場：白鳥ふれあい創造館 207号室

出席委員：池戸千賀子氏、一柳純子氏、三上知帆氏、山田実氏  
(欠席者：井藤一樹氏、伊藤直樹、上野聡氏)

事務局：松島浩生社会教育課長、片桐一男図書館長、青木千尋

### 1. 開会

### 2. 社会教育課長あいさつ

図書館要覧22ページを基に図書館協議会の設置について説明。任期2年、今期から7名の委員の方をお願いしている。図書館の業務について館長に意見を述べていただく協議会であると説明。今年度から館長が交代し、畑中から片桐にかわった。昨年度の大きな事業として、第3次子ども読書活動推進計画を策定した。4月からは新型コロナウイルス感染症対策のため、5月末まで臨時休館となった。その間にも職員の工夫で休館中も対応し、817セット、4085冊の貸出ができた。市の公共施設適正化計画を進めており、やまと分室・わら分室の入る施設が廃止の方向へ動いている。図書館をどうするかということも考えていかなければならないので、またご意見をいただきたい。

### 3. 委嘱書交付

### 4. 協議会委員長選出

事務局案として、前期から継続して協議会委員をされている井藤氏を推薦。  
出席者全員の賛同を得て決定。

### 5. 図書館長あいさつ

3月までは白鳥中学校長として勤務し、退職して4月から郡上市図書館長となった。半年経過して、図書館長としての願いは、図書館をもっと広く知ってもらい、活用してもらおうことである。

### 6. 議題

#### (1) 郡上市図書館の概要と令和2年度郡上市図書館運営方針について

**事務局)** 今回初めて委員を務めていただく方ばかりのため、まずは図書館についてのご紹介と運営方針を説明する。

**館 長)** 本館・分館・5分室の施設、職員構成についてパワーポイント(資料1)に沿って説明。また学校図書館司書についても紹介。図書館の来歴について説明。全国的に見ても、

学校、公共図書館、おはなしボランティアで15年程度の間で文部科学大臣表彰をかなりの頻度で受けており、子どもの読書、学校との連携を大切に活動してきたということを表している。

運営方針と重点については、特に変わったことはしていないが、バランスのいい図書館を目指している。その中で特に重点事項として、子どもの読書は大切にしている。現在の課題としては、利用者の偏り、特に若年層、中高生はほぼ来館がないので何とか、呼び込めたらと考えている。また家読という言葉の周知ができていない。

重点事項を実際の活動を踏まえて説明。

ブックスタートは3、4カ月健診の際に図書館職員が出向いて、保護者の方への啓発をすすめている。学校貸出については、各学校へ出向いての個人貸出のことであり、郡上市図書館の全貸出数の2割を占めている。ブックトークは各学校へ出向いて、1時間の授業のなかでテーマに沿って本を5、6冊紹介するというもの。学校との合同研修として、毎月の学校図書館司書の研修に何回か出向いて話をさせてもらったり、夏休みに学校の先生対象の図書館利用指導研修、また学校図書館の担当の先生と学校図書館司書、公共図書館職員の合同研修会等を行っている。

館内では時事にあったテーマ展示、レファレンスサービスといって利用者が求める資料・情報を、図書館職員が検索・提供・回答をすることによって助ける業務等を行っている。図書館おとなの学校を、地域の人が、地域の人に、地域のことを伝えるをモットーに本館・分館で年間15講座程度開催している。

ほかにも資料1にあるようにさまざまな活動をしている。

**事務局)** 図書館要覧に沿って数値を説明。蔵書について、昨年度1年間購入が6,473冊、寄贈562冊、その他(弁償等)68冊となっており、7,103冊の新規の受入があった。汚損、破損や情報が古くなってしまった等の理由から、図書館要覧P26-27の廃棄基準に従い、昨年度は6,687冊の除籍をした。結果として蔵書冊数が全体で少し増えている。雑誌については予算の減少により、タイトル数を減らしている。

利用状況については、全館で5,358点増加している。理由としては、団体貸出の利用の増加と雪が降らなかった影響で冬の期間の利用が毎年よりも多かったことが考えられる。

## (2) 新型コロナウイルス感染症にかかわる図書館の対応について

**館長)** 4月7日から5月31日まで全館休館した。5月12日から絵本・低学年・中学年・高学年向けに5冊ずつのセット(家読セット)を4通り用意し、図書館に入館せずに貸出しを行った。また19日からはインターネット予約・メールでの予約に対応し、中高生・大人向けのサービスも開始した。その後6月からは開館し、徐々に来館条件を緩めていき、現在は滞在は1時間以内、マスク着用というお願いをしているところ。

**事務局)** ここまでで質問等があれば、お願いします。

**課長)** 図書館要覧を見ていただければ、だいたい図書館の活動について理解していただけ

と思う。

**委員)** 学校貸出のボランティアをされていて、貸出に行くと以前は学級文庫を借りてくれていたが、この頃は学級文庫としての利用がない。ぜひ先生にも本を選んでもらって、借りてもらいたい。

図書館のサービスについて、本のリクエストや図書館への要望を伝える手段は何かあるのか。

また本の購入先として、町の本屋さんを応援する意味でも、絵本専門店等の利用を考えてほしい。

**事務局)** 本のリクエストについては、どこの分館・分室で依頼していただいても、本の選書を行うときに検討するシステムができていますので、なにかあれば、各地域の分館・分室で直接か、メール等でリクエストしていただければ職員で検討させていただきます。

図書館の資料は、バーコード、背ラベル、コーティングをした状態で納入してもらっており、市外の絵本専門店の利用は難しいが、必要に応じて利用を検討する。

**館長)** 学校の先生は忙しくて、館長に就任して半年、ほとんど学校の先生を図書館で見かけない。

**委員)** 情報を集めるにもインターネットで情報収集してすぐ授業に活用することが多い。また今年度学校にタブレットが導入される予定になっており、読書の形が今後さらにデジタル化の方向に変わっていくと考えられる。

**事務局)** 学校にタブレットが入るのにあわせて、QRコード付きの図鑑等の購入の検討している。学級文庫に関しては、学校によってコロナ対応が異なり、学級の中で本を共有することを避けて設置していないという学校もあるので、そういう対応の一環かもしれない。

**館長)** 教職員の皆さんにも本を読んでもらえるように図書館からも啓発していく。

**課長)** 第3次読書活動推進計画の中にも、11ページ②教職員による読書指導の中で“全職員が自ら読書に親しみ、様々な機会を捉え、朝読書や読み聞かせなどの読書活動を推進します。”と挙げているので、そのあたりも働きかけていきたい。

### (3) 第3次郡上市子ども読書活動推進計画について

**事務局)** 令和元年度中におはなしボランティア・PTA役員の方など7名の子どもに関わる方々に委員を務めていただき、事務局とともに10/31、1/30に委員会を開催した。また12月に市内全幼稚園・保育園・こども園の年中児保護者、小学2年・5年の児童と保護者、中学2年の生徒と保護者、高校2年の生徒を対象にアンケートを取り、検討委員会とアンケートの結果を元に第3次計画を策定した。この中で出てきた話としては、読書活動は非常に地道な活動で、今行っている活動を継続することが重要である、中高生の読書離れを防ぐためにも、幼いころからの読書習慣なのではないか、家読の認知度が低いことがあった。そこで第3次計画は、家読を柱として、現在、家庭・園・学校等がそれぞれ行っている活動を引き続き行うこと、公共図書館としては、その活動をバックアップするという内容となって

いる。この計画の進捗状況を郡上市図書館協議会で毎年確認することとなっているので、それについてもご意見等をお願いする。

#### (4) その他

**事務局)** お配りした資料の紹介。

12月10日、岐阜県図書館の出前講座(資料2)について紹介。電子書籍、視覚障害等をお持ちの方の利用できるサービス、インターネット上で音楽を聴ける音楽配信サービス等、来館しなくても利用できるサービスがいろいろあり、当日はデモンストレーションもしていただく。郡上市は岐阜県図書館からは遠いが、この機会にそのようなサービスを利用していただければ、と考えている。

**館長)** 今日の図書館の課題として、電子化、読書バリアフリーがある。読書バリアフリー法が今年度施行され、今後読書に困難を抱える方へのサービスを考えていかなければならない。このような機会を捉えて検討していきたいと考えている。

それぞれの委員の方から一言ずつご意見をいただきたい。

**委員)** 気軽に受けた役職だったが、できることがあれば協力していきたい。

**委員)** 高校生が手にするのはスマホであり、本当に本を読む機会は減っている。岐阜県図書館の出前図書館が働いている人、学生が利用できる時間帯ではないので、また日程について検討してもらいたい。

**事務局)** 今回は試験的に実施するので、好評であればまた企画したい。

**委員)** 4、5月の臨時休館のときの家読セットの貸出で、普段選ばないような本を喜んで読んでいて、新しいジャンルの本との出会いとなった。とてもいい企画なので、また時々行ってほしい。

**委員)** 小中学校と図書館は以前から連携して活動している。コロナ禍における学校図書館の運営についても、非常に苦慮しているが、児童生徒は授業含め、図書館を利用している。学校図書館司書についても、3校掛け持ちだが、それぞれの学校に応じた内容で図書館の充実を図っている。図書館を家族で訪れられる場所にするといいのではないかと思う。

**館長)** 次回2月ごろに第2回協議会を行いたいと思っているので、ご参加をお願いします。